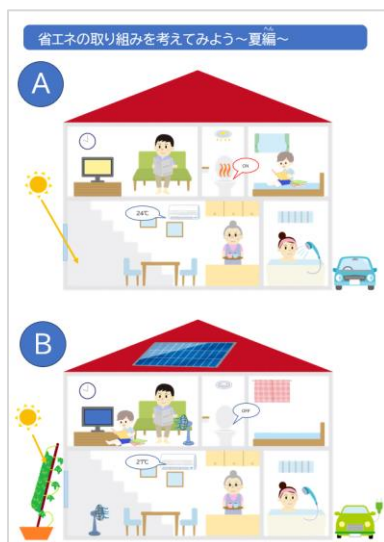
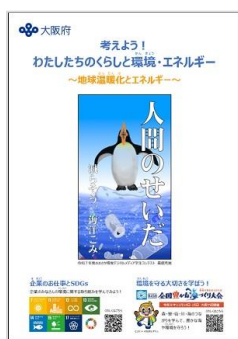


教職員向け「指導の手引き」 ～環境学習ツール～



地球を守るエコな行動記録シート

年 組 ()

月 日 - 月 日

取り組み期間

取り組みを
進んだ理由

めあて

カード
振り返り

振り返り経過

めあて

カード
振り返り

振り返り経過

めあて

カード
振り返り

振り返り経過

集めた木の数を数えてみよう

🌳 🌳 🌳 🌳 🌳 🌳 🌳 🌳 🌳 🌳



ごみ調べシート

年 組 名前

学校や地域の清掃活動で拾ったごみ、家の周りや通学路で気付いたごみについて、どんなものが、どのくらい、どんな場所にあったか、書き出してみよう。

ごみの種類	個数・量	場所

プラスチックごみ削減のための行動計画

年 組 名前

学校や通学路、近くにある公園、川や海など、身の周りの環境はどのような状態で、その環境をどうしたいか・どのようなようになってほしいか、そのために、どのようなことができるか、取り組みたいことを考えてみましょう。

めあて

理由

具体的にどのようなことができるか、取り組みたいことを考えてみましょう。

家でできること 買い物でできること 学校でできること 公園でできること ... 自分からできる行動をイメージして考えてみよう。

実現するために、どのようなことが必要かを考えてみましょう。

一人でできること 友達とできること 家族とできること 地域の人とできること ... 一人でできること、または仲間と協力してできることを考えてみよう。

自分の行動を変える！
→ 調査カードで伝えよう

周りの人に気付いてもらう！
→ ポスターや報告書で伝えよう

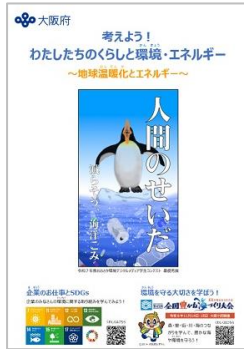
この手引きは、「考えよう！わたしたちのくらしと環境・エネルギー」と連携して使用する学習ツール(ワークシートなど)の使い方や環境学習を進める上で参考となる情報を整理したものです。
学習ツールのデータは、大阪府ホームページに掲載しています。ご活用ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/education/>



環境教育冊子

(補助資料)



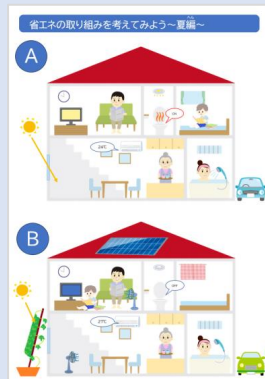
地球温暖化を防ぐために一人ひとりができることを考え、行動できるようにする。

環境学習ツール

①学習シート(省エネの工夫)



②学習シート(省エネの取り組み)



③行動一覧とカード 行動一覧(表形式)

項目	削減率	削減効果
照明	10%	100kWh削減
冷蔵庫	5%	50kWh削減
洗濯機	15%	150kWh削減
エアコン	20%	200kWh削減
給湯器	10%	100kWh削減
テレビ	5%	50kWh削減
パソコン	5%	50kWh削減
ドライヤー	5%	50kWh削減
掃除機	5%	50kWh削減
扇風機	5%	50kWh削減
加湿器	5%	50kWh削減
除湿機	5%	50kWh削減
空気清浄機	5%	50kWh削減
加湿器	5%	50kWh削減
除湿機	5%	50kWh削減
空気清浄機	5%	50kWh削減

タブレット端末等の場合は画像データを貼り付ける

好きな項目を選び貼り付け

行動一覧(カード形式)



紙で利用する場合は、紙印刷用を切り取り貼り付ける



④行動記録シート

地球を守るエコな行動記録シート

月 日 月 日 年 組 ()

氏名

カード
省エネの取り組み

カード
省エネの取り組み

カード
省エネの取り組み

カード
省エネの取り組み

達成した省エネの取り組みをここに貼る

⑤地球を守る行動宣言書

地球を守る行動宣言書

わたしたちが大人になっても
豊かで快適な暮らしができるよう
以下の行動に取り組めます。

年 組



ねらい

- ・環境教育冊子「考えよう！わたしたちの暮らしと環境・エネルギー～地球温暖化とエネルギー～」で地球温暖化の問題について知り、わたしたちの暮らしにどのような影響があるか理解する。
- ・学習シートを使用して、自分たちの生活で具体的にどのようなことができるか、理解を深める。
- ・行動カードと記録シートを使用して、実際に一定期間取り組むことで、意識や行動を変えるきっかけとする。
- ・宣言シートを使って宣言内容を考え、周りの人に伝えることにより、環境のためにできることを考え、環境のために行動しようとする意識を高め、行動につなげるきっかけとする。

授業の実施例

指導計画(全9時+家庭での実践)

時	学習活動	活用するツール
1～3	<p style="text-align: center;">地球温暖化について考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化の仕組みや影響について知る。 ○地球温暖化について調べ、分かったことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育冊子(p.2～5)
4・5	<p style="text-align: center;">暮らしの中のエネルギーについて考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○暮らしの中でどんなことにエネルギーを使っているのか、エネルギーを減らす様々な取り組みについて知る。 ○家庭や学校でできること考え、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育冊子(p.6～11) ・学習シート(かしこく快適に～省エネに取り組む工夫～) ・学習シート(省エネの取り組み)
6・7	<p style="text-align: center;">身近な環境について、自分たちに何ができるか考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カーボンニュートラルについて知る。 ○未来の地球のために、今自分にできることを考え、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助資料 ・行動一覧(表またはカード形式) ・行動記録シート、行動カード
-	<p style="text-align: center;">自分で決めた取り組みを実践する (2週間～1か月程度)</p>	
8	<p style="text-align: center;">実際にできたこと・できなかったことを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集めた木の本数を個人、グループやクラス全体で数え、みんなで取り組むことの効果を知る。 ○自分の行動を振り返り、気付いたことや、工夫したことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動記録シート
9	<p style="text-align: center;">地球温暖化を防ぐため、自分たちにできることを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習をふりかえり、これからどのようなことに取り組みたいか、自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートなどタブレット端末等を使い自由に作成 ・地球を守る行動宣言書

①学習シート「かしこく快適に～省エネに取り組む工夫～」

かしこく快適に～省エネに取り組む工夫～

電気が、水道が、暖かくなることが大切です。色々な取り組みを組み合わせ、電気代を節約しながら快適に暮らすことができます。

冷蔵庫
 冷蔵庫はものをためすぎない。年間CO₂削減量 19kg。1年間で電気代が 1,180円おトク。
 未開封の缶詰やびん詰の調味料は入れないで！
 バナナやサツマイモなどは冷蔵せずに常温保存したほうが良いと言われています。
 キュウリや茄子は冷やし過ぎに注意

お風呂
 シャワーを流しっぱなしにしない。年間CO₂削減量 26kg。1年間でガス代が 2,070円おトク。
 家族4人が4分ずつシャワーを使うと、浴槽1杯分とほぼ同じになる。

エアコン
 暖房時の設定を27℃から28℃にする。年間CO₂削減量 13kg。1年間で電気代が 820円おトク。
 冷房時の設定を21℃から20℃にする。年間CO₂削減量 22kg。1年間で電気代が 1,430円おトク。

活用のポイント

- 省エネを色々とお組み合わせることで、効果を高めることができることや、省エネをしながらも快適に過ごせることが理解できるようにする。
- 環境教育冊子p.7やp.8の取り組みも参考にしながら、他にも省エネの工夫ができるか考えてもらうようにする。

冷蔵庫

- 冷蔵庫の中を整理する。



出典：省エネ性能カタログ2023年度版(資源エネルギー庁)

お風呂

- シャワーを1分使うと約12Lのお湯が流れます。(2Lのペットボトル6本分)
- 家族4人が4分ずつシャワーを使うと、浴槽1杯分とほぼ同じになる。



エアコン

- 空気の流れ・性質と一緒に省エネについて考える。
- 住宅において、熱の出入りの割合は、窓が一番多い。
 夏は、外出時には昼間でもカーテンを閉める。
 冬は、厚手のカーテンを使用したり、床まで届く長いカーテンを使う。
- 家族が一つの部屋に集まって、エアコンの稼働を1台にすることも効果的。
- 食べ物や料理の工夫で省エネにつなげることもできる。
 夏は、夏野菜を料理したり、時短レシピで調理から発生する熱を減らす。
 冬は、鍋料理で体感温度を上げるとともに、部屋の湿度も上げる。

②学習シート「省エネの取り組みを考えてみよう」

<夏編>

省エネの取り組みを考えてみようー夏編ー

A



B



■省エネに取り組んでいる家はあとどれくらいでしょうか。
省エネに取り組んでいるのは _____ の家

■と自分の家はくらべて、どんな取り組みをしているか、考えてみよう。

学校でできる取り組みについて話し合ってみよう



学校でできることを書き出してみよう。

<冬編>

省エネの取り組みを考えてみようー冬編ー

A



B



■省エネに取り組んでいる家はあとどれくらいでしょうか。
省エネに取り組んでいるのは _____ の家

■と自分の家はくらべて、どんな取り組みをしているか、考えてみよう。

学校でできる取り組みについて話し合ってみよう



学校でできることを書き出してみよう。

活用のポイント

- AとBの家を比較して違いを見つけることで、家の中でできることに気付くようにし、リビング、キッチンやお風呂場など、場所によってさまざまな取り組みがあることを理解できるようにする。
(使用する季節に合わせて、夏編と冬編を使う。)
- 家での取り組みを参考にして、学校でできることについても考えてもらう。

<夏編> 記入例

- テレビを消している
- トイレの電気が消えている
- 温水便座の電源を切っている
- 電気自動車を利用している
- 太陽光パネルを設置している
- エアコンの設定温度を27℃にしている
- エアコンと一緒に扇風機を使っている
- グリーンカーテンで日差しを遮っている
- 家族が同じ部屋で過ごしている
- シャワーの水を出しっぱなしにしない

■学校でできること記入例

- エアコンの設定温度を27℃にする
- 教室を使わないときは照明を消す
- 水を出しっぱなしにしない

<冬編> 記入例

- テレビを消している
- トイレの電気が消えている
- 温水便座のふたを閉めている
(開けっ放しにしない)
- 電気自動車を利用している
- 太陽光パネルを設置している
- エアコンの設定温度を20℃にしている
- エアコンと一緒にサーキュレーターを使っている
- 日差しを家の中に取り込んでいる
- 家族が同じ部屋で過ごしている
- シャワーの水を出しっぱなしにしない
- ひざかけを使っている

■学校でできること記入例

- エアコンの設定温度を20℃にする
- 教室を使わないときは照明を消す
- 水を出しっぱなしにしない

③地球を守るエコな行動一覧と行動カード

④地球を守るエコな行動記録シート

活用のポイント

- 具体的な取組みを一覧で見ながら、一人で取り組めるものや協力して取り組むものがあることを理解し、すでに取り組んでいること、これからできそうなことについて考えるようにする。
- 節電だけでなく、プラスチックごみの削減、食品ロスの削減や環境保全など、色々な取組みが地球温暖化防止(CO₂削減)につながることを理解する。
- 各項目の難易度とCO₂削減効果を踏まえて、自分で項目を選び、めあてを設定することで、主体的に行動できるようにする。
- 取組期間を2週間以上に設定することで、意識や行動の変化や定着を促す。
(家で過ごす時間が長い夏休みや冬休み期間を利用すると、家族の協力が得られ、実践する機会も増える。)

行動一覧

手順1

25項目の行動のうち、取り組む3項目について、表形式またはカード形式の一覧の中から探す。

表形式

カード形式

項目	難易度	削減効果	取組み	備考
1	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
2	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
3	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
4	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
5	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
6	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
7	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
8	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
9	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
10	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
11	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
12	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
13	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
14	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
15	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
16	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
17	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
18	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
19	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
20	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
21	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
22	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
23	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
24	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	
25	1	26kg	シャワーを流しっぱなしにしない	



手順2

取り組む3項目を記録シートに貼り付け、めあてなどを記入し、実践する。

地球を守るエコな行動記録シート

年 組 ()

取り組む3項目を選んで理由

めあて

カード

ふりかえり

めあて

カード

ふりかえり

めあて

カード

ふりかえり

めあて

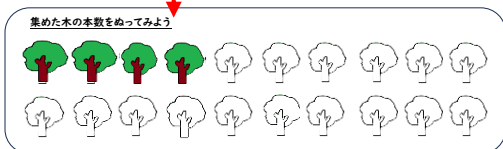
集めた木の本数を数えてみよう

(記入例)
取り組みを選んだ理由
 省エネに関係があり、すぐに実践ができそうだから。
めあて
 毎日実践して、水・電気の使用量をへらす。



- 紙で印刷した場合
切り取って貼り付ける。
- タブレット端末等で利用する場合
各項目の画像データを貼り付ける。

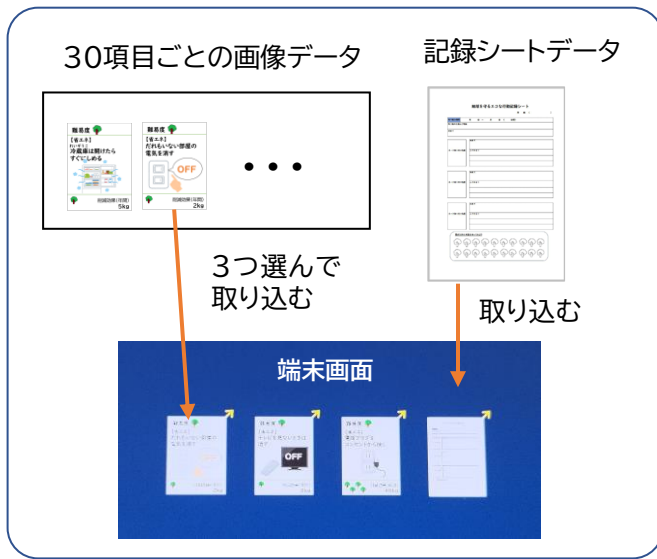
(記入例)
めあて
 シャワーを流しっぱなしにせず、節水をする。
ふりかえり
 こまめに水を止めながら、シャワーを使った。



- 実行できた項目について、行動カードの木の木数(難易度と削減効果の合計)に合わせて色を塗る。
- 「シャワーは流しっぱなしにしない」の場合、難易度1本と削減効果3本なので4本塗る。

<タブレット端末等を使う場合>
例)ロイロノート

必要なデータの取り込み

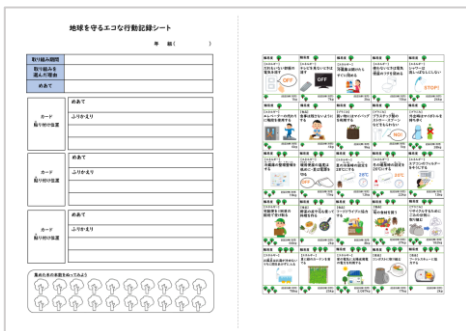


3項目を記録シートの上に移動(貼り付け)



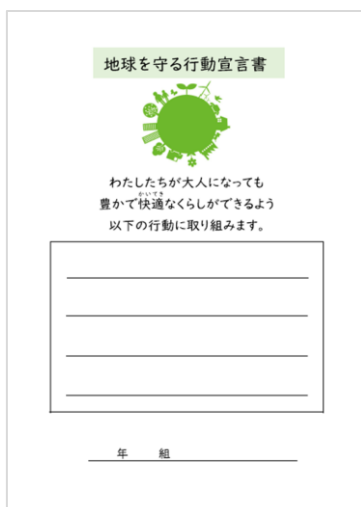
<紙に印刷して使う場合>

記録シート・行動カード(B4印刷用)



- 点線で切り取り、記録シートと行動カードを分ける。
- 取り組む項目を3つ選んで切り取り、記録シートに貼り付ける。

⑤地球を守る行動宣言書



活用のポイント

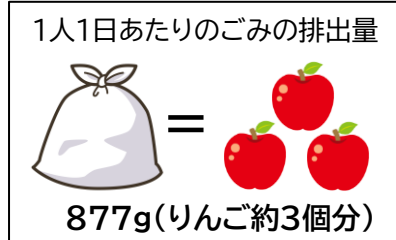
- 周りに向けて宣言をすることにより、自分の取るべき行動をより意識させるようにする。
- 教室や家庭内で掲示することにより、本人だけではなく、周りの人に対しても意識啓発をすることができる。

<参考> 省エネ以外の取組みについて

ごみを減らす

- ・私たちが日々の暮らしで消費している食べ物や様々な製品は、原材料調達、生産・製造、流通販売されるときにも多くのエネルギーを消費しており、それらの間接的なエネルギー消費に伴い、二酸化炭素も排出されています。また、これらが廃棄される過程(ごみの運搬、焼却、埋立など)でも多くのエネルギーを消費します。
(環境教育冊子p11参照)

- ・大阪府では1人1日あたり877gのごみを排出しています。
- ・3R(リデュース・リユース・リサイクル)や、ごみを削減ごみを分別し、リサイクルできるものはリサイクルすることにより、ごみの焼却量を減らすことができます。



食品ロスを減らす

- ・食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品のことです。日本の食品ロス量は、年間約472万トン(令和4年度推計)とされています。これを日本国民1人あたりに換算すると、1年で約38kgとなり、毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てていることとなります。

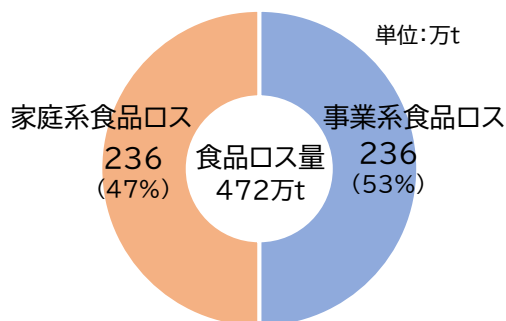
- ・食品ロスは、食品関連の事業者(製造業、卸売業、小売業、外食産業)から発生する事業系食品ロスと、私たちの食卓から発生する家庭系食品ロスに分けられ、それぞれ同じくらいの量が発生しています。

- ・食品ロスは食品が私たちの元に届くまでの流通過程の各段階で発生しています。これらの食品ロスを減らすには、私たち一人ひとりが、食品ロスをできるだけ出さない方法を考え、行動に移すことが大切です。

- ・食品ロスを減らすことで、焼却されるごみの量を減らし、二酸化炭素の排出量の削減につながります。

もったいないやん
へらそう食品ロス

食品ロスに関する教材などを掲載したポータルサイトをぜひご活用ください。



家庭から発生する食品ロス

食べ残し	直接廃棄 (例)賞味期限切れ	過剰除去 (例)野菜の皮のむきすぎ

食品の流通過程で発生する食品ロスの主な要因

生産	製造	配送	販売等	消費
とれ過ぎや、形が悪い(規格外)などにより、流通できず廃棄される。	需要を上回る製造、パッケージの印字ミスや破損による販売先からの返品などにより廃棄される。	売れ残り、パッケージの破損などにより廃棄されたり、食品製造業者へ返品されたりする。	小売店では、パッケージの破損や売れ残りによる返品・廃棄、飲食店では作りすぎや客の食べ残しにより廃棄される。	買いすぎや使い忘れ、食べ残しなどにより廃棄される。

プラスチックごみ問題 環境教育冊子

環境教育冊子

(補助資料)

(美化活動ごみ調査カード)



身近な環境にどのようなごみがあるか、
ごみを減らすためにどのようなことが
できるか考え、行動できるようにする。

環境学習ツール

①ごみ調べカード

ごみ調べシート

氏名 名前

学校や地域の清掃活動で拾ったごみ。家の周りや通学路で見たごみについて、
どんなものが、どれだけ、どんな場所にあったか、書き込んでみましょう。

ごみの種類	種類・量	場所

②プラスチックごみ削減のための行動計画

プラスチックごみ削減のための行動計画

氏名 名前

学校や通学路、近くにある公園、川や海など、身の周りの環境はどのような状況で、その環境を
どうしたいか、どのようにしたいか、そのためにどのようなことができるか、取り組みたい
ことを考えてみましょう。

決めて

理由

具体的にどのようなことができるか、取り組みたいことを考えてみましょう。

誰とやるか
 一人でやる
 友達とやる
 家族とやる
 先生とやる
 地域のひととやる

いつやるか
 毎日
 毎週
 毎月
 休みの日
 その他

実現するために、どのようなことが必要かを考えてみましょう。

一人でやるか
 一人でやる
 友達とやる
 家族とやる
 地域のひととやる

一人でやるか、または
 地域のひととやるか
 一人でやる
 友達とやる
 家族とやる
 先生とやる
 地域のひととやる

自分の行動を変える！
→調査カードで伝えよう

周りの人に話してみよう！
→ポスターや報告書で伝えよう

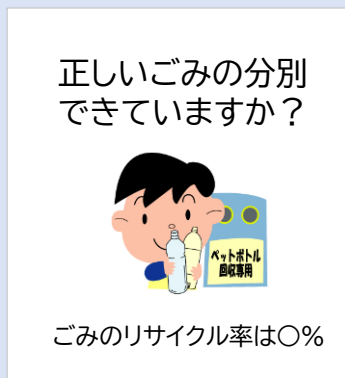
③地球を守る行動宣言書

地球を守る行動宣言書

わたしたちが大人になっても
豊かで快適な暮らしができるよう
以下の行動に取り組みます。

年 組 _____

④ポスター報告書 (様式は自由)



⑤リサイクルde工作



- 環境教育冊子で学んだことを学習シートを使用することで考えを深めるようにする。
- 行動カードと記録シートを使用して、実際に家で取組んでみることによって、自分自身に関係のある問題だと理解できるようにする。
- 宣言シートを使って宣言をすることにより、意識が高まるとともに行動にもつながり、環境によい生活は何か考えられるようにする。

授業の実施例

指導計画(全11時)

時	学習活動	活用するツール
1・2	プラスチックごみについて考えてみよう	
	○プラスチックごみでどのような環境問題が起こっているかを知る。 ○マイクロプラスチックについて調べ、分かったことをまとめる。	• 環境教育冊子(プラスチックごみ問題 p2) • 補助資料
3	プラスチックごみはどこから来たのか考えよう	
	○プラスチックごみが海に漂流する理由を考え、まとめる。	環境教育冊子(p3)
4	ごみ調査の計画を立てよう	
	○場所、人数、時間、準備物など、実際にごみ調査に行くうえで必要なことをまとめる。	環境教育冊子(p4)
5	ごみ調査に行って、ごみの種類を調べよう	
	○どのような場所に、どのようなごみがどのくらい落ちているかまとめる。	美化活動ごみ調査カード
6	ごみ調査で集めたごみを分類・整理しよう	
	○どんなごみが、どのくらい、どんな場所にあったかをまとめる。	ごみ調査シート
7	身近な環境について、自分たちに何ができるか考えよう	
	○ごみ調査の活動から、何ができるか、何をしたいかなど自分たちの考えをまとめる。	• プラスチックごみ削減のための行動計画 • 環境教育冊子(p5)、補助資料
8	学んだことを伝えよう	
	○これまでの学習を通して、自分が取り組みたいことや自分の考えを周りの人に伝える。	地球を守る行動宣言書
9~ 11	学んだことを伝えよう	
	○これまでの学習をふりかえり、学んだことを広めるポスターを作成する。	

① ゴミ調べカード

ごみ調べシート

年 組 名前

学校や地域の清掃活動で拾ったごみ、家の周りや通学路で気付いたごみについて、どんなものが、どのくらい、どんな場所にあったか、書き記して下さい。

ごみの種類	数量・量	場所

活用のポイント

- ごみの種類や場所を書き出すことで、その特徴を理解してどうしたら削減できるか考えられるようにする。
- みんなで協力して地域をきれいにし、活動前後の変化を観察することで、協力して取り組むことの大切さや効果を実感できるようにする。
- ごみ拾いをする際に、グループ対抗(量や種類の多さ)にすると、楽しみながらたくさんのごみを回収することができる。

※「美化活動ごみ調査カード」(環境教育冊子p4に掲載)を活用すると種類別に算定ができます。

② プラスチックごみ削減のための行動計画

プラスチックごみ削減のための行動計画

年 組 名前

学校や通学路、近くにある公園、川や海など、身の周りの環境はどのような状況で、その環境をどうしたいか、どのようにしてほしいか、そのために、どのようなことができるか、取り組めたいことを考えてみましょう。

ゆめ

理由

目標にどのようなことができるかや、取り組めたいことを考えてみましょう。

一人でできること 友達や先生とできること 家族とできること 地域の人とできること ... 学校や地域の清掃活動や行事を通して取り組めたいこと

実現するために、どのようなことが必要かを考えてみましょう。

一人でできること 友達や先生とできること 家族とできること 地域の人とできること ... 一人ですること、または実行の人数が増えることが必要

自分の行動を変える！
●調査カードで伝えるよう

周りの人に促してもらう！
●ポスターや掲示物で伝えるよう

活用のポイント

- 自ら計画をたてることで、ごみ削減の問題を「自分ごと」としてとらえられるようにする。
- ゴミを拾うことで周りの環境がどう変わってくるか、考えられるようにする。

<地域での清掃活動の実施が難しい場合>
環境教育冊子や補助資料で身近なごみについて調べ、どのようなことができるか、行動計画を使用して考える。

③ 地球を守る行動宣言書

地球を守る行動宣言書

わたしたちが大人になっても豊かで快適な暮らしができるよう以下の行動に取り組みます。

年 組

活用のポイント

- 周りに向けて宣言をすることにより、自分の取るべき行動をより意識させるようにする。
- 教室や家庭内で掲示することにより、本人だけでなく、周りの人に対しても意識啓発をすることができる。

④ポスターや報告書

- ごみ拾いやごみ調べを通じて学んだこと、感じたことをポスターや報告書で表現し、周りの人に伝える。

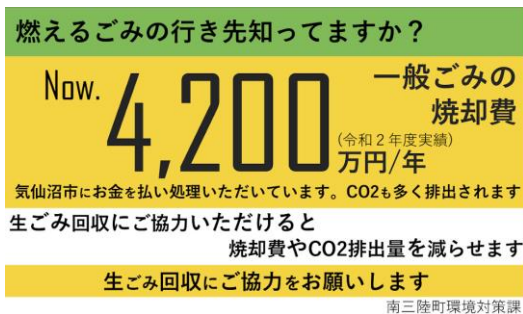
<参考> 効果的なポスターの作成～行動の変化をうながす手法「ナッジ」～

「行動の変化(行動変容)」を促す手法として、行動科学・行動経済学の知見を活用した「ナッジ」があります。ナッジ(nudge)とは、英語で「そっと後押しする」という意味で、人々が、人や社会にとつてより望ましい行動を自発的に選択するよう促す手法の総称です。

ナッジ手法を活用することで、行動を促す効果的なポスターを作成することができます。

事例①:南三陸町での実証事例
(実施主体:NECソリューションイノベーター株式会社による調査研究)

- 損失回避:利得より損失に強く反応することに着目したポスター。
- 可燃ごみ処理費を損失として開示することで分別行動を促し資源循環を促進。



出典:環境省ホームページ
事例①令和4年度ベストナッジ賞
事例②令和5年度ベストナッジ賞
(高等学校部門)

事例②:大阪府立泉北高等学校での実証事例

学校のペットボトル専用回収箱における分別回収(ラベルやキャップを分ける、ペットボトル以外のものを捨てない)について、2種類のナッジを取り入れ、分別に対する意識や行動の変化について効果検証を行った事例。



- ペットボトルの分別を分かりやすく掲示することで、分別に関心を持つようにする。
- 中が分かるごみ箱にすることで、みんなやっていると気付くことで、分別することが常識だと認識できるようにする。

⑤プラスチックdeリサイクル工作



- ペットボトルキャップでキーホルダー
- プラスチック片でレジンキーホルダー
- 海の漂流物でハーバリウム

活用のポイント

- マイクロプラスチックなどのごみを実際に拾い、工作に使用するという過程を経て、海洋プラスチックごみによる海洋汚染の問題を身近に感じ、関心を持つきっかけとする。

テーマ

環境のためにできること ～自分にできる身近な行動から考える～

第5学年(5月～3月)

総 総合的な学習の時間

家 家庭科

《学習のねらい》

・SDGsの17のゴールについて学び、各ゴールと環境問題との関わりを理解し、環境を守るために日常生活の中で何ができるか自ら考え、実践できる子どもを育成する。

総 環境問題を知る

環境問題について各自パソコンで調べ、どのような問題があるかや、和泉市の環境について、聞き取り学習をする。

総 家 自分たちにできることを考える

環境問題を解決するために、自分たちが生活の中でできること、取り組みたいことを調べ、まとめる。エコ・クッキングを通じ、食べ物やエネルギーを大切にする、ごみを減らすなど、食と環境問題との関わりを考える。

冬休みを活用した家庭での実践取り組み

環境学習ツールの「地球を守る行動」や自分で考えた取り組みについて、12月19日～1月31日までの間に、実際に取り組む。

43日間の
チャレンジ！



総 取り組みの総括・発表

どんなことに取り組んだかや、実際に取り組んでみて、感じたこと・気付いたことをまとめ、発表する。

買い物や大掃除で 家族と一緒にチャレンジ！

総合 エコについてやったこと

2. 野菜の皮や芯も使って料理をする

私の家ではニンジンはいきれいに洗って、ピーラーで皮も切ってお味噌汁やお鍋に使っています。また、大根は葉のほうも栄養があるとテレビでやっていたので大根に葉がついているときは葉も使うようにしています。



3. エアコンのフィルターの掃除

大晦日にエアコンのフィルターの掃除をしました。結構汚れて、びっくりしました。また、夏はよく使うけど、冬はあまり使いません。なぜかという、テレビで、エアコンを使うよりこたつを使うほうが節電できるというのをやっていたのでなるべく暖房を使わずにこたつだけで生活しています。なので暖房を使った回数は計5回くらいです！



意識すること、毎日続ける ことの大切さへの気付き。

取り組んだこと

- 誰もいない部屋の電気を消す
- シャワーを出しっぱなしにしない
- テレビを見ないときは消す

「シャワーを出しっぱなしにしない」

やってみてわかったこと

・普段、シャワーを出しっぱなしにして止めることにあまり意識していないことが多いとわかりました。

・シャワーを使わない時にはすぐに止めることを意識していないと忘れることが多いとわかりました。

ふり返り

・シャワーを出しっぱなしにすることをなくすにはシャワーを使わないときはすぐに止めるということを意識することが大切だと思いました。



3つのふり返り

- 私の取り組んだことすべて、忘れてしまいがちが多かったのを忘れないように意識することが大切だと思いました。
- 私は、「誰もいない部屋の電気を消す」と「テレビを見ない時は消す」は、家族の一緒に部屋を過ごしていると消し忘れることがなくなりました。
- 電気も、シャワーも、テレビも、使わなくなったとき(見なくなったとき)にはすぐに消す(止める)ことが大切だと思いました。
- 小さなことでも、毎日続けることによって環境が悪くなるのを止めることができるので毎日続けることが大切だと思いました。
- 毎日続けていると、環境を良くする取り組みが癖になるので、最初に取り組みを忘れないように努力するとずっと続けられると思いました。

先生
から

環境問題について学び、「自分には何ができるのか」について考えました。実際にお家でチャレンジするという事で、子どもたちは主体的に活動することができていました。家庭科、社会科といった教科と関連して学べることで良い影響がでたと感じました。



(参考)ゲストティーチャー

○和泉市の環境について(和泉市環境保全課)

○エコ・クッキング(大阪ガスネットワーク)

テーマ

自分たちにできることは何だろう？ ～漁業体験から身近な環境を見直す～

第5学年(5～10月)

総 総合的な学習の時間

社 社会科

《学習のねらい》

- ・子どもたちの地域・社会との関わり方や関わり方の質の向上(=社会参画力の向上)を図る。
- ・漁業体験活動や社会科の学習を通して、身近にある問題を知り、課題解決に向けて自ら考え、実践できる子どもを育成する。

社 水産業のさかんな地域(導入)

日本の水産業の現状を知り、田尻町の漁業も同様なのか、という考えをもつ。

総 田尻漁港での漁業体験

漁師さんの働く姿から、漁師さんのやりがいや苦勞していることはどんなことか考える。



社 水産業のさかんな地域(展開)

日本の水産業の現状と課題を知り、田尻漁港も同様の課題を抱えているかについて考える。

総 田尻漁港の漁師さんへの聞き取り学習

漁業体験、社会科の学習を通して、自分たちが考えたことや疑問に感じたことなどを中心に聞き取り学習をする。



総 グループ別テーマ学習

社会科の学習、漁業体験、聞き取り学習を通して、自分たちでテーマを決定し、グループごとに「私たちにできること」を考えていく。



田尻川の水質調査



かきの貝殻を使って水質改善



クリーンハイク

先生から

「現実社会や働く人の姿を見て学ぶ」ことを重視しながら授業づくりを行うことで、子どもたちは自分事として課題解決に取り組むことができたと思います。また、テーマ別のグループ学習を行うことで、より主体的に取り組むことができ、実際に行動につなげることで、子どもたちは達成感や成就感を得ることができました。この学習を通して、他の学習にも良い影響が出ていると感じています。

(参考)ゲストティーチャー



- スナメリの生体や大阪湾の環境(元海遊館飼育員:石川恵氏)
- 大阪湾及び世界の海の現状を学び、自分たちの行動につなげる(青木ヨット(株):青木洋氏)
- 水質改善につながる行動の評価、取組みについて協議(東洋メンテナンス(株):片木智生氏)

テーマ

わたしたちの環境を守ろう ～ごみを減らそう！ちょっとでも！～

第5学年(4～3月)

総 総合的な学習の時間
社 社会 国 国語

《学習のねらい》

・環境問題を自分事として捉え、社会や地域の一員として、環境をまもるためにできることを考え、実践したり、地域に発信したりすることができるようになる。

総 環境問題を知る

環境問題について各自パソコンで調べ、どのような問題があるか理解し、1年間で取り組む課題を考える。

ごみ問題について聞き取り学習

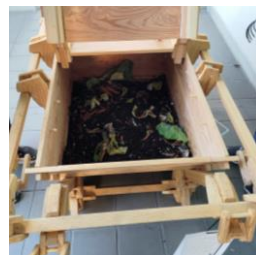
様々なゲストティーチャーから、堺市のごみ処理や資源化の状況や「生きごみさん」(コンポスト)、ミミズコンポストについて、聞き取り学習をする。



コンポストの設置

生ごみをミミズに食べさせて処理する「ミミズコンポスト」を設置。コンポストの記録をとり、5年生全員で試行錯誤しながら、堆肥づくりに取り組み、使い方や注意点をポスターにして、学校のみんなに取り組みを発信する。その他、生きごみさんによる堆肥づくりも実施。

ミミズコンポスト



生きごみさん



総 社 国 地域との関わり・取り組みの総括

聞き取り学習や地域の方々との関わりを通して、自分たちの活動をどう役立てるか、ごみをどうしたら減らせるか考えていく。



校区の清掃活動



学習で作った堆肥を活用した
校区内の公園の花植え活動



5年生がデザインした自動販売機の設置
(購入すると子どもたちの声が出る)

先生
から

ごみをちょっとでも減らすために、児童が取り組んでみたいと思ったことを取り入れながら授業を進めて行きました。見たり聞いたりするだけでなく、実際に行動に移すことで、より主体的に取り組むことができました。この学習を通して学んだことや経験、つながりを、他の学習へもつなげてほしいと思っています。

(参考)ゲストティーチャー



- 堺市のごみ処理・「生きごみさん」(堺市環境局)
- ミミズのコンポスト(横町編集部・福井県大野市と関西大学の連携協定に基づく団体)
- 食品ロスの問題・自動販売機設置(ガイドホールディングス株、大阪太平小商事株)
- 食品製造過程から出る廃棄物の有効活用(ハウス食品株)



大阪府

環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課

〒559-8555

大阪市住之江区南港北1-14-16

大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)22階

電話 06-6210-9288

令和6年3月発行(令和8年4月更新)